

フレッシュマンコーナー

泌尿器科のイメージアップを目指して

防府医師会 かわい泌尿器科クリニック

川井 禎久

平成30年5月に防府市植松で「かわい泌尿器科クリニック」を開院いたしました、川井禎久と申します。

自己紹介

私の出身地は、岡山県小田郡矢掛町横谷という「超」の付く田舎です。その昔、私の先祖は豊臣秀吉の備中高松城水攻めに同行し岡山にやってきました。明智光秀の謀反により、かの有名な秀吉の中国大返しとなったわけですが、私の先祖は病に倒れ、大返しに帯同できなかったそうです。そのため、備中地域に土着し、武士ながら貧乏で農業をやりながら生活のため、あろうことか秀吉の敵である毛利元就に仕え猿掛城というお城で働いていたそうです。その後、関ヶ原の合戦で西軍

が破れ、毛利家が備中から撤退を余儀なくされ、その後は徳川家旗本である花房氏に仕えました。猿掛城には、黒田官兵衛も何度か訪れていたそうです。

岡山県立倉敷青陵高等学校を卒業し、平成14年に山口大学を卒業、同年泌尿器科へ入局し現在に至ります。

経歴

山口大学医学部附属病院を中心に宇部興産中央病院、県立総合医療センター、益田赤十字病院、山口赤十字病院で勤務して参りました。

山口大学では先代の内藤克輔先生、現教授の松山豪泰教授のご指導の下、主に前立腺癌、腎臓癌、膀胱癌、精巣腫瘍の基礎研究、手術、薬物



治療を専門にやって参りました。サブスペシャリティーとして、慢性腎臓病保存期治療、透析治療や停留精巣、膀胱尿管逆流症などの小児泌尿器科手術に携わって参りました。

平成26年から2年間、カナダのバンクーバーにある University of British Columbia の Vancouver Prostate Centre に留学する機会を与えて頂きました。留学先では世界各地から優秀な医師や研究者が集まり、カナダやアメリカ、ヨーロッパで就職先を得るために、熾烈な競争を繰り広げていました。留学先の教授は臨床医、研究医、創薬企業家として超一流でした。そのため超多忙であり、データが出るまで3ヵ月も、教授とミーティングをしてもらえず、土日も研究室で実験する日々でした。私生活では交通事故にあったり、家族全員インフルエンザになったり、私が突然めまいで倒れたりとつらいことがたくさんありましたが、いくつものピンチを家族全員で乗り越えたことはとても貴重な経験です。

開院後

開院してまだ2年足らずですが、私の実感として、一般の患者さんにとって「泌尿器科」は、未だに「性病と包茎」の科というイメージが強い印象です。

泌尿器科が担う診療範囲は広く、外科領域でいえば、前立腺癌・膀胱癌・腎臓がんなどの癌摘出手術、腎臓移植など移植手術、尿路結石手術、透

析の準備である血管手術、女性の尿失禁手術、臓器脱手術、子供の精巣や膀胱の手術など多岐にわたります。内科領域でいえば、腎臓病治療、透析治療、抗がん剤治療、ホルモン治療、頻尿、尿もれ、尿路結石、膀胱炎、性感染症、男性不妊症、おねしょの治療を行います。

地域の開業医として、泌尿器科疾患について啓蒙し、わかりやすく説明し、「“受診して良かった”を地域の患者さんに」を理念に、女性も子供さんも気軽に安心してかかれるプライマリ・ケア泌尿器科医を目指し、「泌尿器科」のイメージアップに努めたいと存じます。

泌尿器科開業医として日も浅く、まだまだ未熟で“開業研修医”として謙虚に修行して参りたいと存じます。勤務医時代には経験のない全くわからない業務ばかりであるのに、すべて自己責任であり、自己負担する金額も勤務医時代とは比較になりません。事前にわかっていたこととはいえ、実際に経験すると想像を超えるストレスであり、まさに暗闇の中を家族を背負って全力で走っているような気分です。しかし暗闇の中でも、山口県医師会・防府医師会の先生方にも温かくご指導ご支援いただき、大変ありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後、泌尿器科医として地域の皆さんに少しでも喜んで頂けるように、微力ですが誠心誠意努力して参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

